

第4回水稲病害虫発生予察状況の調査結果について

令和7年8月19日

兵庫県農業共済組合佐用事務所

佐用町内（佐用1、上月1、南光1、三日月1）の水稲病害虫発生状況について8月19日に調査を行いました。一部のほ場において、紋枯病、ヒメトビウンカ・セジロウンカ・斑点米カメムシ等の害虫が確認されました。

1 調査結果（調査日8月19日）

| 病害虫名 | 調査結果の概要 |
|----------|----------------------|
| いもち病 | 調査ほ場では発生が確認されませんでした。 |
| 紋枯病 | 一部のほ場で発生がありました。 |
| 縞葉枯病 | 調査ほ場では発生が確認されませんでした。 |
| ウンカ類 | 一部のほ場で発生がありました。 |
| ツマグロヨコバイ | 一部のほ場で発生がありました。 |
| カメムシ類 | 一部のほ場で発生がありました。 |

（調査地点別の結果は裏面参照）

2 これからの管理について

① カメムシ類

不稔と斑点米を引き起こす斑点米カメムシが見られました。基幹防除を徹底してください。発生が見られた場合は対策として2回の防除を行ってください。

また、一般的な斑点米カメムシ対策として、出穂の2週間前までに畦畔等の草刈りを実施し、本田のノビエは早めに抜き取りましょう。

イネカメムシが見られた地域、昨年被害が見られた地域においては、対策として、出穂期から穂揃期に防除を行ってください。

② 紋枯病

株元を観察し病斑が見られるようであれば、JAなどに要確認のうえ、紋枯剤を早めに散布しましょう。

3 その他

- ・7月下旬以降の気象状況（アメダス観測地：上郡）は、平均気温は高く、降水量は平年より少なく、日照時間は多くなっていました。
- ・1か月予報：平年に比べ曇りや雨の日が少ない（気温：高、降水量：少、日照時間：多）
- ・気象庁の1ヶ月予報では気温は平年より高くなる見込みです。極早生品種では刈り取り適期を逃さないように籾の黄熟程度をよく見てください。また、収穫作業を見越しての極端な早期落水は粒張りの悪さや登熟不良による品質低下を招きますので注意してください。

今回で今年度の調査は終了です。